



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月13日

上場会社名 株式会社トリプルアイズ 上場取引所 東
 コード番号 5026 URL <https://www.3-ize.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 雄一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 加藤 慶 (TEL) 03-3526-2201
 四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績(2022年9月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,735	△5.7	△97	—	△95	—	△468	—
2022年8月期第3四半期	1,840	—	131	—	115	—	96	—

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 △468百万円(—%) 2022年8月期第3四半期 96百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年8月期第3四半期	円 銭 △67.48	円 銭 —
2022年8月期第3四半期	15.38	14.48

- (注) 1. 当社は、2021年10月29日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益を算出しております。
 2. 当社は、2021年8月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 3. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年8月期第3四半期	百万円 1,398	百万円 688	% 49.2
2022年8月期	1,788	1,157	64.7

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 688百万円 2022年8月期 1,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年8月期	円 銭 —	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—		
2023年8月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,322	△4.2	△211	—	△209	—	△583	—	△84.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社、除外 -社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	6,970,600株	2022年8月期	6,949,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	一株	2022年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	6,949,079株	2022年8月期3Q	6,261,221株

(注) 当社は、2021年10月29日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済の状況は、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、本格的な回復を見せ始めております。一方で、世界的なインフレの亢進等により、中期的にはブレーキがかかりうる状況であります。

当社グループの属する業界においては、2010年代後半から活発化していた各企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)関連の投資が、コロナ禍によって冷え込んだ反動を含むかたちで大幅な回復の傾向にあります。DX、ITサービス関連の展示会の客足はコロナ禍以前まで回復しており、各企業のDX投資は本格化する様相を呈しております。DXは現状課題へのソリューションとなるだけでなく、より積極的な業務改善、事業改革の礎とする企業も増加しており、既存システムの刷新やデータ分析のAI化に対する期待は高く、今後もこの流れの加速は続いていくと見られています。一方で、エンジニアの不足は深刻化しており、優秀な人材の獲得競争が激化しております。

そのような状況下、当社グループは、「テクノロジーに想像力を載せる」という経営理念の下、人にやさしいICTサービスの提供を目指し、当社グループ独自のテクノロジーで新たな時代への橋渡しとなるイノベーションを追求しております。経営基盤の安定を担うSI部門と成長を加速させるAIZE部門のシナジー効果を最大限に発揮させ、技術力と社会実装力を併せ持つ独自の企業としての優位性を確立してまいります。

当第3四半期連結会計期間においては、ポストコロナといわれる状況下で各企業のDXへの大規模な投資が再開される概況に照準を合わせ、営業活動を行っております。一方で、新型コロナウイルス感染症対策として提供してきた自動検温装置と画像認識技術を結合したサービスの需要の低下が顕在化しております。また、当社グループは、顔認証AIが世の中に欠かせないテクノロジーとして社会に広く実装されるよう、大手企業含むパートナーとも協働し取り組んでおりますが、人々の生活や行動を変えるシステム実装には当初の想定以上に丁寧に時間をかけることが必要であり、これらに関するシステム実装の規模拡大や収益化には相応の時間を要するものとみております。

しかしながら、白ナンバー事業者へのアルコール検知の義務化の改正道路交通法施行を控え、AIZEシステムにアルコールチェッカーとの連携機能を搭載したサービス、顔認証AIをスマートロックと連動させるプロダクトへの問い合わせは確実に増加しており、併せて受注は増加傾向にあることから、第4四半期以降の業績への貢献を見込んでおります。

また、マーケティング活動の活発化、販売パートナー網の拡充といった営業戦略によって、AIZEプロダクトの拠点ID数は増加しております。AIZEプロダクト以外にも、当社AI技術へのニーズは高く、画像分析や需要予測といったAI開発案件の増加へとつながっております。

一方、エンジニア不足が継続する状況の中、先駆けてエンジニア人材強化のため先行投資を進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,735,536千円(前年同期比5.7%減)、営業損失は97,606千円(前年同期は営業利益131,335千円)、経常損失は95,092千円(前年同期は経常利益115,985千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は468,936千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益96,317千円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(AIソリューション事業)

当セグメントにおきましては、AI、IoT、DXに係る開発、WEBシステム開発やAIZE関連請負開発に関する売上は安定的に推移する一方、エンジニア人材強化のための先行投資を実施した結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は1,696,901千円(前年同期比5.9%減)となり、セグメント損失は111,425千円(前年同期はセグメント利益121,803千円)となりました。

また、当セグメントのうち、SI部門における経営上の指標であるエンジニア単価については620千円(前連結会計年度比0.0%減)、エンジニア人数については2,035人月(前連結会計年度比71.4%の進捗)、AIZE部門における経営上の指標である拠点ID数は2,704件(前連結会計年度末比65.0%増)となりました。

(研修事業)

当セグメントにおきましては、当第3四半期連結会計期間において、季節性の要因で新卒研修等の実施件数が増加したことにより、当第3四半期連結累計期間において、売上高は32,224千円(前年同期比12.6%増)となり、セグメント利益は13,764千円(前年同期比40.3%増)となりました。また、経営上の指標である研修の請負金額は、32,224千円(前連結会計年度比99.1%の進捗)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、1,398,513千円と前連結会計年度末と比較して389,576千円減少しております。

流動資産は1,101,748千円(前期末比382,955千円減)となり、主な要因としては現金及び預金が403,201千円減少したことによるものであります。

固定資産は296,765千円(前期末比6,621千円減)となり、主な要因としてはAIZE技術開発を目的としたソフトウェア仮勘定が195,664千円、ソフトウェアが37,574千円、繰延税金資産が17,726千円それぞれ減少した一方、資本業務提携等に伴う、投資有価証券の取得により243,285千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、710,050千円と前連結会計年度末と比較して79,143千円増加しております。

流動負債は597,405千円(前期末比115,712千円増)となり、主な要因としては短期借入金が161,000千円増加した一方、買掛金が56,833千円減少したことによるものであります。

固定負債は112,644千円(前期末比36,569千円減)となり、主な要因としては長期借入金が36,582千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、688,462千円と前連結会計年度末と比較して468,720千円減少しております。

主な要因としては親会社株主に帰属する四半期純損失468,936千円の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想(2023年4月13日発表)からの変更はありません。なお、今後の見通しにつきましては、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。連結業績予想につきましては、業績予想の修正が必要になった場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,079,929	676,728
受取手形	-	331
売掛金	274,945	252,906
契約資産	71,517	79,999
商品及び製品	11,384	36,954
原材料及び貯蔵品	233	149
その他	50,425	58,267
貸倒引当金	△3,731	△3,589
流動資産合計	1,484,703	1,101,748
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,271	8,804
車両運搬具（純額）	102	25
その他（純額）	9,526	8,061
有形固定資産合計	12,900	16,891
無形固定資産		
のれん	5,399	3,269
ソフトウェア	40,430	2,856
ソフトウェア仮勘定	195,664	-
その他	2,086	1,862
無形固定資産合計	243,580	7,988
投資その他の資産		
投資有価証券	-	243,285
繰延税金資産	17,726	-
その他	29,179	28,600
投資その他の資産合計	46,905	271,885
固定資産合計	303,386	296,765
資産合計	1,788,090	1,398,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,249	90,415
短期借入金	79,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	60,264	68,647
未払金	101,136	110,982
未払法人税等	18,405	5,205
契約負債	14,121	18,282
賞与引当金	6,100	19,380
受注損失引当金	11	-
その他	55,404	44,492
流動負債合計	481,693	597,405
固定負債		
長期借入金	149,214	112,631
繰延税金負債	-	12
固定負債合計	149,214	112,644
負債合計	630,907	710,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	719,935	720,043
資本剰余金	669,935	670,043
利益剰余金	△232,687	△701,623
株主資本合計	1,157,182	688,462
純資産合計	1,157,182	688,462
負債純資産合計	1,788,090	1,398,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,840,189	1,735,536
売上原価	1,306,376	1,273,131
売上総利益	533,812	462,404
販売費及び一般管理費	402,476	560,011
営業利益又は営業損失(△)	131,335	△97,606
営業外収益		
受取利息	7	14
助成金収入	2,992	2,750
補助金収入	2,673	-
その他	554	1,085
営業外収益合計	6,227	3,850
営業外費用		
支払利息	1,199	1,336
株式交付費	6,378	-
支払手数料	7,473	-
上場関連費用	6,500	-
その他	26	-
営業外費用合計	21,578	1,336
経常利益又は経常損失(△)	115,985	△95,092
特別損失		
社葬費用	7,372	-
固定資産除却損	-	274
減損損失	-	324,873
ソフトウェア評価損	-	26,255
特別損失合計	7,372	351,403
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	108,612	△446,496
法人税、住民税及び事業税	12,295	4,700
法人税等調整額	-	17,739
法人税等合計	12,295	22,439
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,317	△468,936
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	96,317	△468,936

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,317	△468,936
四半期包括利益	96,317	△468,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,317	△468,936
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。